

症例

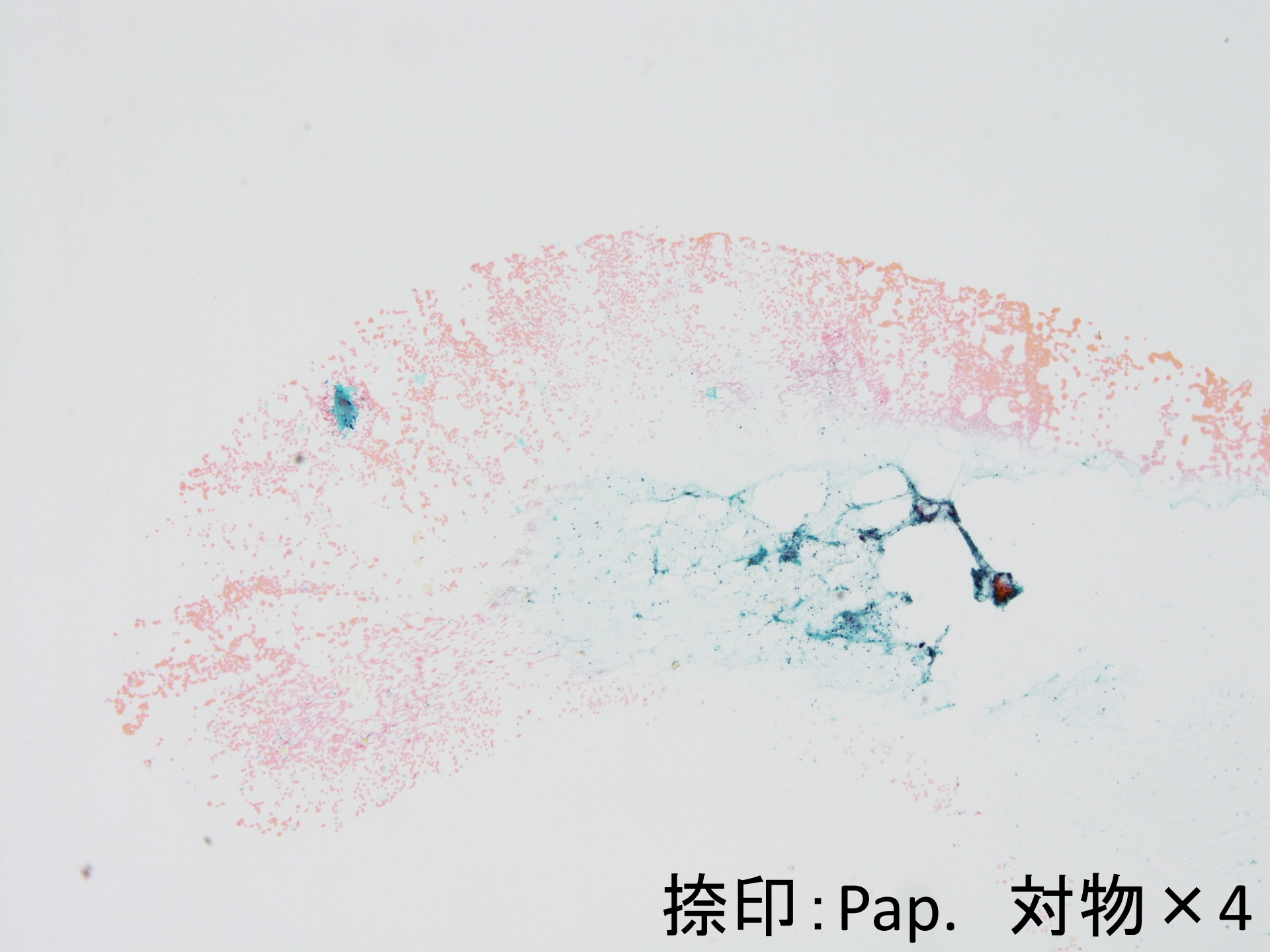
- ・症例：40歳代、女性
- ・検査材料：左顎下部腫瘍、

エコーガイド下針生検時標本作成

- ・病歴：2カ月前より左顎下部の腫瘍形成自覚されるも、疼痛等症状もなく、自己にて経過観察を行っていた。その後近医を受診、頸部リンパ節炎の診断のもと抗菌薬処方されたが症状に変わりはなく、紹介にて当院歯科口腔外科を受診された。左顎下部に拇指頭大の腫瘍性病変あり。触診にて圧痛なし。周囲との可動性なし。やや弾性硬。エコーにて多形腺腫が疑われ、エコーガイド下針生検を施行された。

選択肢

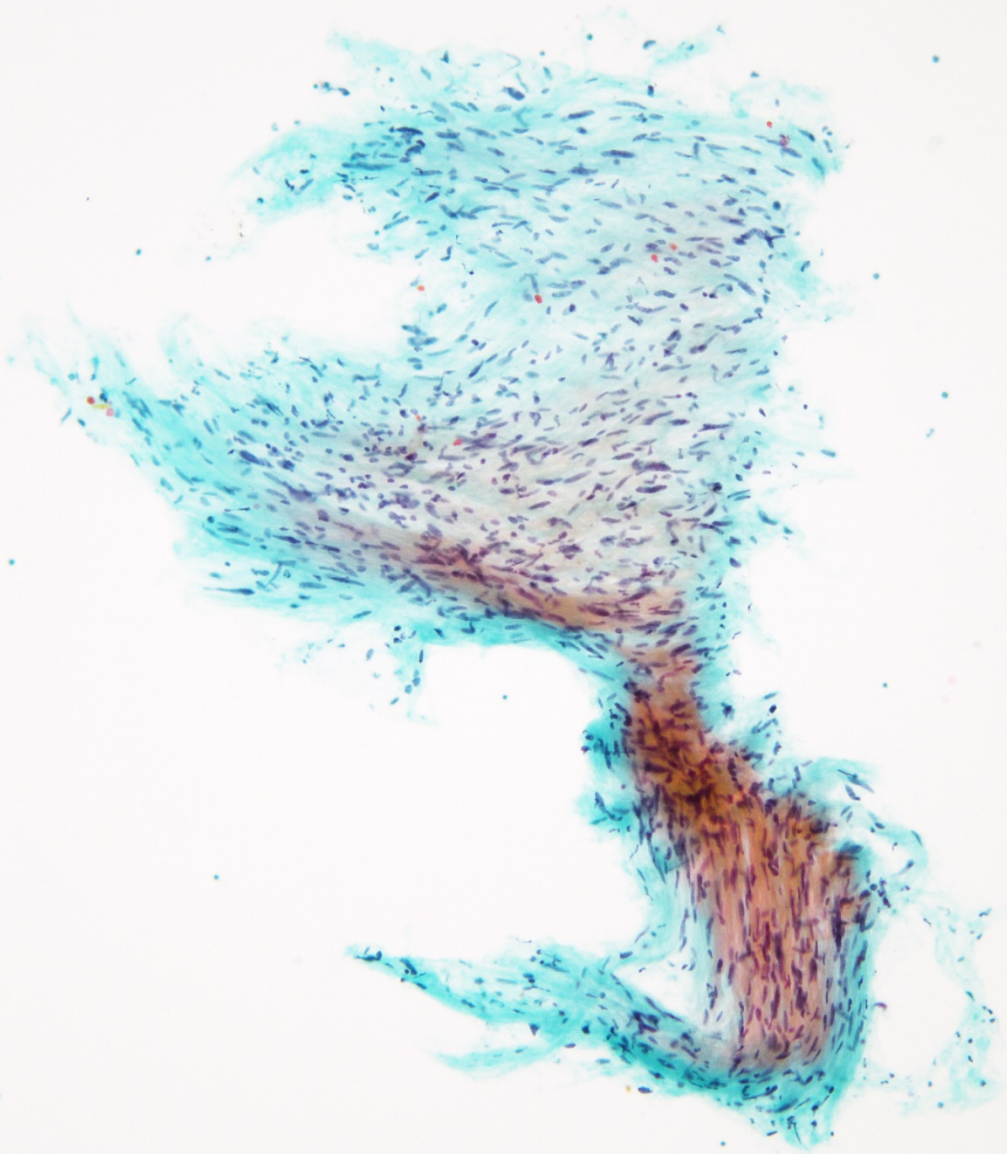
- ①多形腺腫
- ②平滑筋肉腫
- ③扁平上皮癌
- ④神経鞘腫
- ⑤甲状腺癌のリンパ節転移



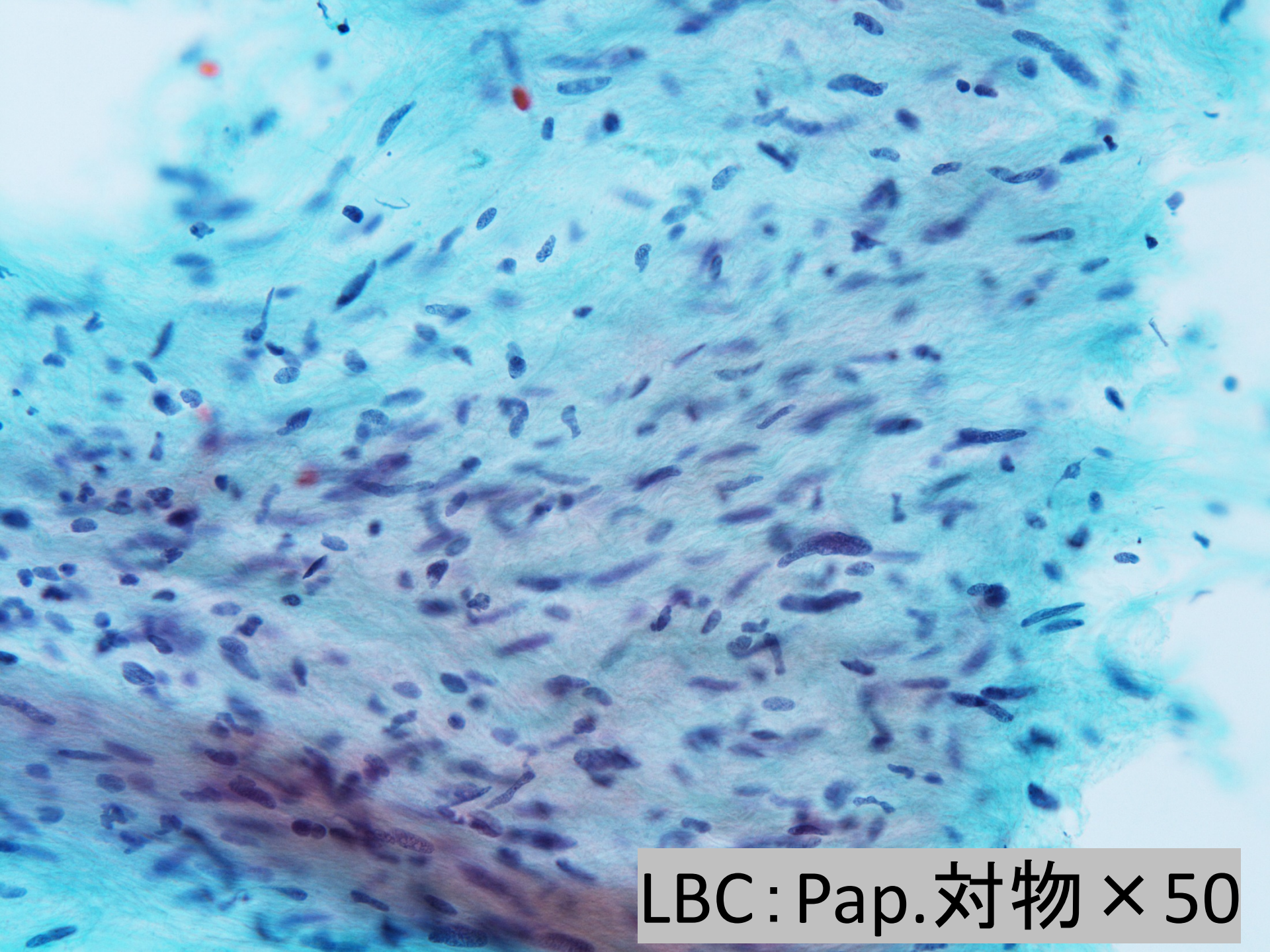
捺印: Pap. 対物 $\times 4$



捺印 : Pap. 対物 × 50



LBC: Pap. 対物 × 10



LBC: Pap.対物 × 50

LBC: Pap. 対物 × 100

